



小田原・平塚正教会だより

2016年7月号

2016年7月1日発行 第167号

司祭 デイミトリー 田中 仁一

〒250-0011 神奈川県小田原市栄町四丁目 4-1

TEL/FAX : 0465-22-2792 携帯 070-6514-3336

E-mail: holyspiritodawara@gmail.com

日本ハリストス正教会教団 HP: <http://www.orthodoxjapan.jp/>

本教会 HP: <http://odawara-orthodox.com/>

郵便振替口座: 00270-6-15226



神によって「義の冠」を受けた人「聖人」。聖人とは、正しい神の教えを守るために迫害された人々のことだけをそう呼ぶのではない。情熱と自己否定、謙遜と忍耐をもって生涯「信仰の戦いを立派に戦いぬいて」次第に聖人の性質を獲得した人々もそうである。したがって聖人は迫害時代にのみ排出されたのではなく、いかなる時代であっても排出され、またされていくだろう。全ての時代に、聖なる使徒、表信者、殉教者、主教、修道士、司祭、男性、女性、そして子供たちがいるのである。(2ページへ続く)

S.ディミトラコプロス

せいぜんくじゆせん
←聖前驅授洗イオアン

らくだの皮をまとっている。彼は、救い主の到来を告げる者として背に翼をつけて描かれたり、斬首されたことを示して手に自分の頭をもって描かれることが多い。また、イコンの記号として十字架を持っている聖人は致命者を意味する。

●五旬祭後第二主日聖体礼儀

7月3日(日) 10:00～ (9:30 痛悔)

第1調 ロマ2:10-16 マトフェイ4:18-23

●五旬祭後第四主日聖体礼儀・月例パニヒダ・信徒総会

7月17日(日) 10:00～ (9:30 痛悔)

第3調 ロマ6:18-23 マトフェイ8:5-13

●五旬祭後第六主日聖体礼儀

7月31日(日) 10:00～ (9:30 痛悔)

第5調 ロマ12:6-14 マトフェイ9:1-8

7月17日(日)は小田原教会の信徒総会です。公示は5ページにありますのでご覧ください。

2016年7月1日発行

聖人 ～いと小さき者～

聖人たちがどのように生きて神から「聖人」という祝福を受けたのかを記した書をシナクサリオン(聖人伝)という。これだけでも図書館がひとつできるほどの書物の数だと言われている(S.ディミトラコプロス。)

私たちも、決して「聖人」という祝福を受ける可能性から外れているわけではありません。聖人もまた私たちと同じように感情をもってこの世を生きてきた「人」なのです。ここで一つ忘れてはならないことは、彼らが聖人になることを目指して生きたのではない、ということです。彼らは「いかに自分が神からほど遠い存在かを知り、自分を省み、神の恩寵を求めて生きた人」なのです。様々な聖人の軌跡をたどることで、私たちの信仰の励ましとなることを願い、小田原・平塚正教会だよりではできる限り聖人の生活を紹介しようと試みています。今月は祈祷の中でもよく記憶され、知られている前ぜんくじゅせん驅授洗イオアの誕生の話を紹介します。彼は西暦元年、つまり主ハリストスと同じ時間を生きた一人の人です。

教会では、主ハリストス降誕の6か月前である7月7日(新暦6/25)、前驅授洗イオアの誕生を祝います。前驅授洗イオアは一般的には洗礼者ヨハネやバプテスマのヨハネの名前で知られています。彼は老夫婦、司祭ザハリヤとエリザベタの間に生まれました。このエリザベタという女性は生神女マリアの親戚であると福音經に記されています(ルカ1:36。)

ある日、司祭ザハリヤがイエルサリムの神殿で祈っていると、天使ガヴリルが来て、長く望んでいた子供を授かると彼に告げました。あまりに年老いていたザハリヤは「そんなことがあるわけない」と、天使の言葉を聞いて嘲笑しました。そのために妻が出産するまで口がきけなくなったという伝承があります。

エリザベタの月が満ちて男の子が生まれた8日後、ユダヤの民の習慣に従って割礼をその

子に施すと、口のきけなかったザハリヤが突如として神を讚美しながら、赤子にイオアンと名付けました。さらにザハリヤはこの男子が先駆けとなって救世主の到来を世に告げるだろうと預言しました(ルカ1:67-79。)

時代はイロド(ヘロデ)王の時代、三人の博士を通じて救世主が降誕したことを知るや否や、イロド王は地方の男の赤子を皆殺しにする命を下しました。生神女マリアはそのことを天使から告げられてすでに幼子イイススを連れてエジプトへ逃れています。人づてで王の命令を知ったザハリヤは、妻子だけを荒野へ逃しました。それから役人がイエルサリムの神殿で祈っているザハリヤのところへ彼の赤子の行方を尋ねにやって来ました。ザハリヤが知らないと答えたので、役人はその場でザハリヤを殺してしまいました。

荒野に残されたエリザベタとイオアンは、そのまま荒野で暮らしていましたが、やがてエリザベタも死んでしまいました。まだ幼いイオアンは天使に守られながら時が来るまでたった一人で荒野で生活しました。

主ハリストスの到来が近づくと、イオアンは街へ出て人々に痛悔するよう叫んで福音の到来を知らせ始めました。それによって心を改めた人々に、イオアンは川で洗礼を授けました。このことからイオアンは聖前驅授洗イオアンと呼ばれています。

こうして痛悔した人に洗礼を授けているところへ救主ハリストスがやってきました。(この話は神現祭に続きます。)救いの先駆けに痛悔がある、聖前驅授洗イオアンは、心から自分自身を省みる人々のうちに本当の救いがやってくることを伝えています。

最近の出来事・消息

小田原 復活祭後墓地祈祷・廻家祈祷 5月1日の復活祭を終えて5月10日から小田原教会の墓地祈祷が開始されました。御殿場と教会共同墓地のある富士霊園を皮切りに、湯河原・小田原市内4エリア、大庭/七里ガ浜、青山、多磨、雑司ヶ谷の各墓地にある信徒家庭の墓前にて今年も主の復活が告げられました。お天気の良い日も悪い日も、暑い日も肌寒い日もありましたが、皆様のご協力により祈祷できましたことを心より感謝いたします。特に今年は司祭が把握している限り全ての墓前で祈祷できましたことを神様に感謝します。また、現在廻家祈祷も行っております。ご家庭の祭壇にてご家族様のためにお祈りすることが第一の目的ですので、他のお気遣いなさらぬよう、くれぐれもお願い申し上げます。



聖神降臨祭・婦人会総会 6月19日(日)午前10時より、小田原の聖堂が記憶する、聖神降臨祭(五旬祭)聖体礼儀が行われました。30名弱の兄弟姉妹が集まって祝いました。またその前日である土曜日にも夕暮れの約2時間、聖神降臨祭前晩徹夜祈を祝いました。日曜日は聖体礼儀に続き、聖神降臨祭主日晚課(膝屈祈祷)・月例パニヒダが行われ、長い祈祷時間となりましたが、昼食に続いて婦人会総会が開かれました。11名の出席、詳細は次号にてご報告いたします。



柏久保 晩課 6月11日(土)午後6時から、諸聖神父の主日晚課を行いました。タチアオイも背丈を伸ばし、丸い花をパッと咲かせていますが、境内の雑草もよく伸びています。祈祷後、ご用意してくださったお茶と軽食を頂きながら、司祭が新年度からの祈祷の時間帯や祈祷予定と行事について皆さんに意見を求めました。この時、男性信徒の方々が雑草除去などをはじめとする境内地整備の案を立てていることを聞きました。これらをうまく組み合わせて、柏久保教会の皆さんが踏み固めてくださった地を足掛かりに、来る8月の信徒総会までに、より柏久保教会の信徒の方々が参拝しやすいよう新年度の計画を準備したいと思います。

静岡 役員会兼建設委員会進捗報告 6月9日午後6時から。建設会社数社に依頼した見積りの提示金額および内容を検討しましたが、採択に至りませんでした。従って6月25日に予定していた着工前の

祈禱は延期することとなりました。25日の執事会は予定通り行います。

修善寺 聖体礼儀・廻家祈禱 6月12日

(日)10時から、諸聖神父の主日聖体礼儀を行いました。6月9日の升天祭をもって復活祭期が修了し、通常の祈禱に戻りました。また説教の中ではこの日に記憶される「諸聖神父」たちがなされたこと、また彼らが神様を知識だけで知ったのではなかった、と話されました。廻家祈禱もこの日曜日を挟んで4日にわたって行われました。7月10日



は全国公会のため祈禱をお休みしますが、8月には聖体礼儀とともに信徒総会と執事会を行います。

平塚 信徒総会・感謝祈禱 7月17日(土)午前10時より、横田祥子姉宅にて行われます。年次の大切な会合の場ですので、平塚教会信徒の方は万障お繰り合わせの上、ご出席ください。

献金報告

7/20 現在 日付は会計処理日です。ありがとうございました。

日付	氏名	摘要
5/22	荒井 譲兄	復活祭献金
	荒井 隆兄	復活祭献金
	廣石 和子姉	復活祭献金
	日比野 俊二様	復活祭献金
	神谷 忠明執事長	パニヒダ献金
5/29	渡辺 和枝姉	復活祭献金
6/19	阿久津 八重子姉	復活祭献金

日付	氏名	摘要
6/19	山口 敏之兄	感謝献金
	内藤 直樹兄	感謝献金
	村越 ナジェスタ姉	聖堂献金
	渡辺 和枝姉	パニヒダ献金
	日比野 俊二様	パニヒダ献金
	マリア カポニ姉	パニヒダ献金

婦人会献金：

日付	氏名	摘要
7/20	山口 敏之兄	感謝献金

平成28年熊本地震「義捐金」にご協力くださり、ありがとうございました

4月14日に発生した平成28年熊本地震とそれに引き続く地震活動で永眠された方々の霊の安息をお祈り申し上げると共に、罹災された方々へのお見舞いを申し上げます。募集は5月31日で締め切り、皆様からの義捐金は **54,021 円** 集まりました。集まった義捐金は東京大主教教区で合わせて、熊本県内の被災教会へ送られます。

2016年6月26日

信徒各位

宗教法人 小田原ハリストス正教会
代表役員 司祭ディミトリイ 田中仁一

公 示

至聖三者の御名に由りて、ご平安お祈り申し上げます。

宗教法人小田原ハリストス正教会規則第一七条に基づき、2016年度小田原ハリストス正教会信徒総会を下記のとおり開催します。

記

日時：2016年7月17日（日）聖体礼儀後

場所：小田原ハリストス正教会信徒会館

- (1) 2015年度小田原ハリストス正教会活動報告
- (2) 2015年度小田原ハリストス正教会決算報告
- (3) 2016年度小田原ハリストス正教会活動計画
- (4) 2016年度小田原ハリストス正教会予算案
- (5) 2015年度会計監事の選任
- (6) その他

以上

欠席される方は委任状の提出を必ずお願い致します。

郵送・FAX・Eメールにて受付。 〆切 7/17 正午。

----- キリトリ線 -----

委 任 状

宗)小田原ハリストス正教会御中

私は、2015年7月17日(日)に行われる「2016年度小田原ハリストス正教会信徒総会」を欠席いたします。ついてはこれに際し、委任状を提出し、決議の一切を議長に委任いたします。

2016年____月 ____日

聖名 _____ 姓名 _____ (印)

送付先 FAX: 0465-22-2792/email: holyspiritodawara@gmail.com



7月の永眠者一覧(敬省略)

永眠日	聖名	氏名	永眠年	縁故者
2日	マリヤ	重田 スエ	1972年	重田 仁
3日	イオフ	岩本 仙治	1993年	岡野 康子
6日	ソフィヤ	神谷 ハマ	1998年	神谷 幸夫
7日	イリナ	神谷 和子	1939年	神谷 武夫
9日	イリヤ	加藤 憲一	1990年	加藤 宏
9日	コンスタンチン	安達 東吾	1972年	安達 紀彦
9日	イオシフ	石川 芳雄	1913年	石田 浩一
12日	シメオン	日比野 長吉	1909年	日比野 勇
13日	ニーナ	世古 恵子	2014年	神谷 幸夫
14日	ソフィヤ	日比野 ハル	2001年	日比野 勇
16日	アガフィヤ	高橋 ならし	1951年	松川 忍み
17日	ニフォント	廣石 與志雄	2008年	廣石 清子
20日	ウエラ	假野 うら	1913年	假野 美枝
21日	リンマ	長澤 むら	1943年	
21日	サヴィン	日比野 一郎	1988年	日比野 正男
23日	ワシリイ	阿久津 潔	2009年	阿久津 八重子
25日	アキラ	加藤 章	2003年	
26日	ワッサ	日比野 ワサ	1908年	日比野 正男
27日	ユリヤ	山本 聖子	1990年	山本 保
27日	ソフィヤ	重田 タマ	1926年	重田 仁
30日	アナスタシア	百瀬 美智子	2008年	百瀬 久
31日	長司祭イヤコフ	山口 精一	1953年	山口 晃
31日	フェオドラ	秋山 ふみ	1990年	山口 晃
31日	ミヘイ	神谷 徳次郎	1896年	神谷 武夫

今月の月例パニヒダは第三日曜日です。

聖堂は皆さんのお祈りの場、そして皆さんの たまご 霊が永遠に養われる場です。ローソクを灯して少しの間、ご家族のために祈りに来られるだけでも大変結構です。どうぞ遠慮なさらずお越しください。



【2016年7月】小田原・平塚ハリストス正教会月間活動予定表

日	曜日	祈祷・行事・集会	堂役	主日調/聖書の読み
1	金	[小田原廻家]		7/3
2	土	主日前晩禱・執事会(17:00)		調:1調 使徒経:ローマ2:10-16 福音経:マト4:18-23
3	日	五旬祭後第2週 主日聖体礼儀(10:00) ・ 聖書講話/聖歌練習	神谷(幸)	
4	月			
5	火	執事会(予備日)		
6	水	[小田原廻家]		
7	木	[小田原廻家]		
8	金			
9	土	[午前:廻家 午後:全国公会]		
10	日	[全国公会] ※小田原での祈祷はありません。		
11	月	[東京:健康診断]		
12	火		聖ペトル・パウエル祭	
13	水			7/17
14	木	[静岡巡回]		調:第3調
15	金	[小田原廻家]		使徒経:ローマ6:18-23 福音経:マト8:5-13
16	土	平塚教会感謝祈祷・信徒総会(10:00) 主日前晩禱(17:00)		●婦人会昼食当番 皆で協力して行いましょう ●糖飯:日比野 恵美子姉
17	日	五旬祭後第4週 主日聖体礼儀・月例パニヒダ (10:00) 信徒総会(昼食後)	山口(幸)	
18	月		海の日	
19	火			
20	水			7/24
21	木	[小田原廻家]		調:4調
22	金	[東京:財務部会]		使徒経:ローマ10:1-10
23	土	[静岡巡回]		福音経:マト8:28-9:1
24	日	五旬祭後第5主日代式祈祷(10:00) [静岡巡回]	山口(幸)	●婦人会昼食当番 皆で協力して行いましょう
25	月	[静岡巡回]		
26	火			
27	水			7/31
28	木	[小田原廻家]		調:5調
29	金			使徒経:ローマ12:6-14
30	土	主日前晩禱・執事会(17:00)		福音経:マト9:1-8
31	日	五旬祭後第6週 主日聖体礼儀(10:00) ・ 聖書講話/聖歌練習	神谷(幸)	●婦人会昼食当番 皆で協力して行いましょう

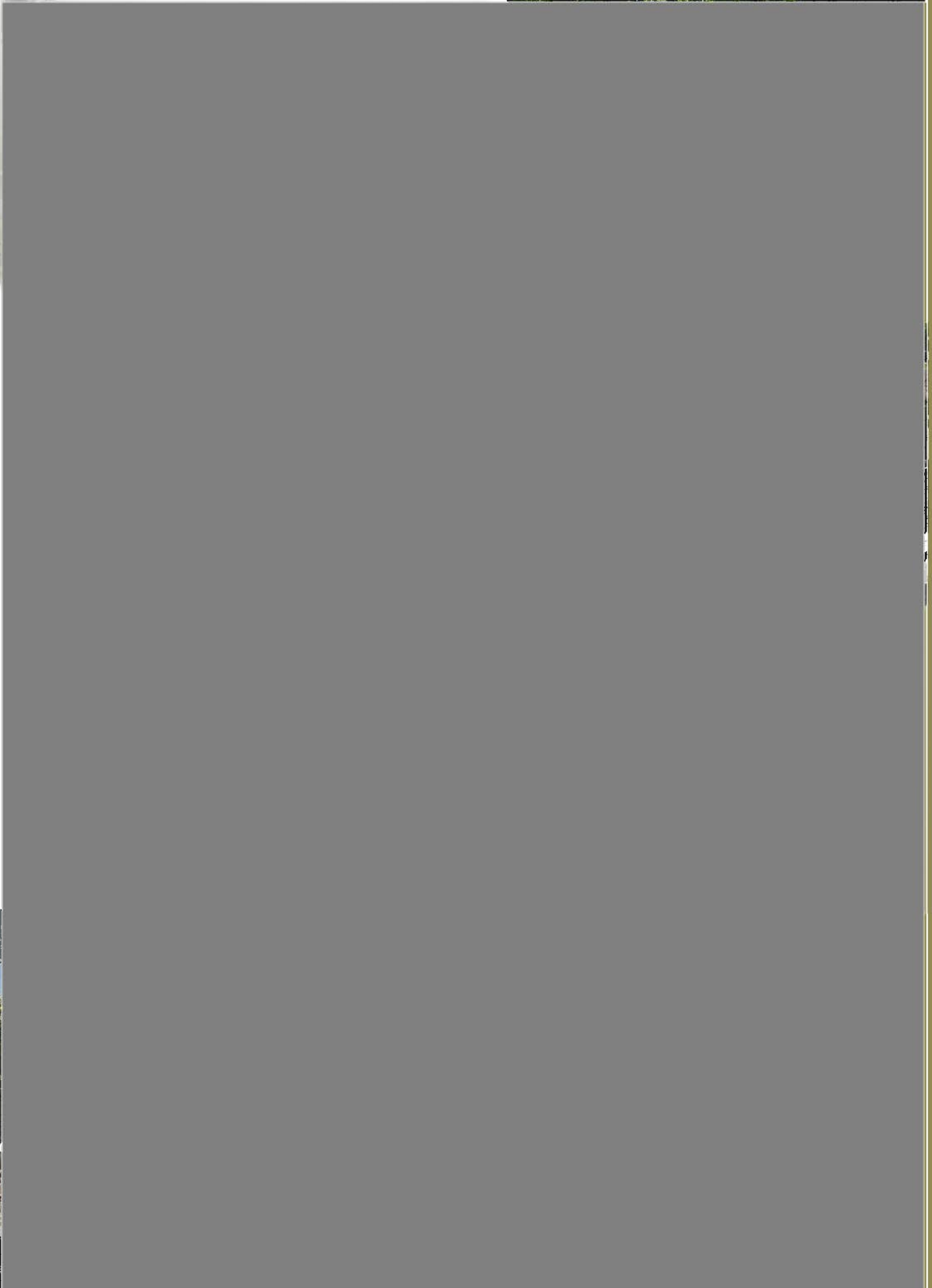


[]内は司祭の活動

* 聖体礼儀に参拝し領聖するときは、前日から十分に節制しましょう*

* ここには主日の聖書の読みが記載されています。お手持ちの聖書を読むときに活用して下さい。*

フォトレポート～墓地祈禱 2016～



↑ 墓地祈禱開始 1 週目の願成寺。その 3、4 週間後の多磨・青山・雑司ヶ谷霊園に至るまでに季節がひとつ進んだようでした。